

科目名	クラス	講義区分	科目ナンバリング	曜日	科目名	クラス	講義区分	科目ナンバリング	曜日
国際機構論	<春集>		POLS2430	火2・金2					

【教員氏名】
 梶部 恵子

【単位数】
 4 単位

【授業形態】
 『講義』

【講義・演習概要】
 この講義では、国際機構の成り立ちとしくみについて、国連を中心に勉強します。武力紛争、貧困、環境保護など、世界共通の問題を解決するのに、国連を中心とした国際協力は不可欠です。春学期の国際機構論では、大学生なら誰もが持つべき世界史の基礎知識を確認しながら講義を進めます。秋学期に国際法を履修する予定の人は、国際機構論をなるべく先に履修してください。国際機構論の前半は国際法の導入部分と似ていますが、取り上げ方が大きく異なります。講義冒頭には、国内外のメディアのホームページを用いて、メディア・リテラシーも学びます。

【学習（到達）目標】
 (1) 16世紀以降の世界史の流れを国際機構の視点から理解する。
 (2) 国連の成り立ちと諸組織の役割を把握する。
 (3) 国際問題の理解に必要な一般教養（歴史、地理、文化、宗教）を身につける。

【講義・演習計画】
 第1回：国際機構とは何か
 第2回：国際機構の歴史(1) ルネサンスと大航海時代
 第3回：国際機構の歴史(2) 宗教改革から三十年戦争へ
 第4回：国際機構の歴史(3) ウェストファリア条約と主権国家体制の形成
 第5回：国際機構の歴史(4) アメリカ独立革命とフランス革命
 第6回：国際機構の歴史(5) ナポレオン戦争とウィーン会議
 第7回：国際機構の歴史(6) ハーグ平和会議
 第8回：国際機構の歴史(7) 赤十字国際委員会の設立
 第9回：第一次世界大戦(1) サラエボ事件
 第10回：第一次世界大戦(2) 近代兵器の登場
 第11回：第一次世界大戦(3) パリ講和会議と国際連盟の設立
 第12回：国際連盟(1) 国際連盟の目的
 第13回：国際連盟(2) 国際連盟の問題点① 大国の不参加
 第14回：国際連盟(3) 国際連盟の問題点② 制裁の欠如
 第15回：第二次世界大戦(1) ファシズムの台頭
 第16回：第二次世界大戦(2) 国際連盟の崩壊
 第17回：第二次世界大戦(3) 国連の設立
 第18回：国連のしくみ(1) 国連の目的
 第19回：国連のしくみ(2) 国連の原則
 第20回：国連のしくみ(3) 総会
 第21回：国連のしくみ(4) 事務総長
 第22回：国連のしくみ(5) 安保理① 任務と権限
 第23回：国連のしくみ(6) 安保理② 朝鮮戦争
 第24回：国連のしくみ(7) 安保理③ スエズ戦争とPKO
 第25回：国連のしくみ(8) 安保理④ 湾岸戦争
 第26回：国連のしくみ(9) 安保理⑤ 冷戦終結後の民族紛争
 第27回：国連のしくみ(10) 安保理⑥ アメリカ同時多発テロとイラク戦争
 第28回：特別テーマ(1) 核軍縮
 第29回：特別テーマ(2) 人権の保障
 第30回：試験とまとめ

【成績評価の方法】
 試験評価：100% レポート：0% その他：0%
 授業で出席票を配布するのは受講生が質問等を書くため、成績評価にはいっさい関係ありません。授業中に行う確認テストは成績評価にいっさい関係ありません。

【テキスト】
 成美堂出版編集部：『『一冊でわかるイラストでわかる図解世界史』』（成美堂出版）

【参考文献】
 横田洋三監修『入門国際機構』法律文化社 2016年
 篠原初枝『国際連盟』中央公論新社 2010年
 最上俊樹『国連とアメリカ』岩波書店 2005年
 瀬岡直『国際連合における拒否権の意義と限界』信山社 2012年
 芝生瑞和『図解フランス革命』河出書房新社 1989年
 中村圭志『図解世界五大宗教全史』ディスカバー・トゥエンティワン 2016年

【事前および事後学習の指示（事前学習 60 時間 事後学習 60 時間）】
 教科書の指定されたページおよび指示された参考サイト等で予習・復習してください。

【その他備考（担当教員用）】
 教科書は毎回使います。教科書を持参しない学生に対する配慮はありません。